

## 世界史B

C 自然災害や略奪，戦争などによる破壊がなくとも，長い歴史を経てきた遺跡は常に危機にさらされている。エジプトの⑦アレクサンドリアの南西に残るアブ＝メナは，初期キリスト教の巡礼の都市遺跡であるが，近年，周辺の農業の影響で地下水位が上昇して遺跡の大半が崩落の危機に瀕している。また，ゴシック様式の教会建築として有名なドイツの⑧ケルン大聖堂は，近隣の高層ビル建築によって美しい景観が破壊された。一方，中国の山西省にある平遥は，⑨明清時代に活躍した山西商人の本拠地であり，当時の街並みが残る貴重な都市遺跡である。ここでは，街並みを保護するために街内での新たな建築物の高さやデザインを制限するなどの措置が取られている。

問7 下線部⑦について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 

25
----

- a プトレマイオス朝の首都として栄え，ムセイオン(王立研究所)も建てられた。  
b ビザンツ帝国のユスティニアヌス帝が，ハギア(セント)=ソフィア聖堂を造営した。

- ① a—正      b—正  
② a—正      b—誤  
③ a—誤      b—正  
④ a—誤      b—誤